

◆ グループワークのテーマ 1

『 東部圏域における介護保険の卒業に向けての現状と課題 ～ハード・ソフト面について～ 』

*現 状

- ・維持がメインになっている。
 - ・訪問リハビリのマンパワーが少ない。
 - ・患者は病気になってからでないと来院されない。予防医学に関してドクターは関わりづらい。
 - ・在院日数の短縮化で、医学的リハビリテーションが確保されないまま在宅へ帰るケースが多くなっている。介護保険下で働く上では、退院後の身体機能回復をしっかりと考えていかなければならない。そこで回復の見込みがない場合は、社会的リハビリテーションへの展開も考えて行く必要がある。身体機能向上という本来のリハビリテーションに特化した「あるくすたじお」さんについては、回復の見込みがあるという状態の、地域で暮らす方々が集まっているのが現状。
 - ・目標不明瞭（家庭での役割）
 - ・重度化している人が多い。リハビリを入れたい、プランに入れにくい。
 - ・家族のレスパイトで利用している人。目標明確な人。
 - ・認知症のコントロールでサービス利用。地域での助け合いが少ない。
- ▶ケアマネジャーについて
- ・卒業に関して不安に思っている事が多い。
 - ・良くなっても介護度が下がることがこわい。
 - ・ケアプランに具体性がない。
- ▶サービスについて
- ・デイサービスに長くいる方は、そこでコミュニティが完結しており、他施設や次の場所に繋げること（コミュニティを広げることが）が難しい。
 - ・デイサービスは行きづらい。
 - ・交通の便やサービスエリアが限られている。
 - ・智頭、八東など山間部のサービスが少ない。利用したいができない。
 - ・デイサービス卒業がなかなか難しい。
- ▶介護保険について
- ・卒業がなかなか難しい（無理）。
 - ・卒業に向けての本人や家族の想いのすり合わせが難しい。家族の理想が高い。
 - ・卒業の基準、利用者の希望とセラピスト介助者側の評価が合致しない。
→リハビリをやめると歩けなくなるのでは。機能低下につながるのではという不安。
 - ・円満な卒業が出来れば良いが、そうでない方が多い。
 - ・介護度が軽くなるとマイナスイメージ（もうリハビリが入らないのか？デイケアが少なくなるのか？等）になり、プラスに受け取ってもらえない事もある。
 - ・介護度が下がると、絶望感、野に放たれた感じを受ける。
 - ・実際の介護度と能力に差があるのでは（介護保険が重くつきすぎる）。

- ・要支援者の居場所がない
 - 入院中に介護度が出て要支援だった場合に使えるサービスが少ない。
 - 地域でのコミュニティに何があるのか分からない。
- ・人間関係が強くなりすぎると依存が生じてしまう。(自信がない、距離感)

*課題

- ・最初の目標設定が不明確。半年、1年後の再確認が必要であるが、確認方法が難しい。
- ・現状を適宜、家族に伝えて行く必要がある。
- ・自宅での生活がやっとなの方にしっかりと声掛けをしていく必要がある。自立と要介護の間の方。
- ・男性が出やすくなる場所(女性のデイサービスが多い)。
- ・卒業後の受け皿について知っておかなければいけない。
- ・要介護、要支援が出てからでは遅い!その前から介入できれば…。
- ・急性期からの在宅等での情報不足を補う。
- ・介護保険の入口からサポートをして行う。

◆ グループワークのテーマ 2

『 こういった場所があったらいいな。の提案 』

- ・元気な人と要介護者の人への支援→地域への取り組み。
- ・利用者の方にあらゆるサービスの情報が得られる仕組み。
- ・1回ワンコインというようなキャッチフレーズ。
- ・楽しみの場としての通いやすさ、その人に合ったコミュニティ。
- ・しゃんしゃん体操の普及(高齢者だけでなく学校でも知ってもらう)。
- ・訪問STの普及。(話をすることが苦手、外出が嫌いという方もいらっしゃる)
- ・なるべくお金をかけずに健康維持できる仕組み
 - 中国では太極拳をしている。
 - 50～60代の方の健康になる良い習慣を自然にできると良い。
- ・サロンなどの地域資源の活用について(公民館などでの社会活動)。
- ・交通費のサービス(タクシー等の割引制度)。
 - 米子ではタクシーに補助が出る
 - 民間企業、タクシー業者との連携
- ・中山間(若桜)での取り組み、民間企業(ゆいまある)送迎機関(小学生～高齢者)
- ・在宅にかえってから、リハビリテーションの運動負荷量調整が、かかりつけ医だと難しいので、何かフォローがあると良い。
- ・地域で公民館などを利用して3B体操を展開していく。
- ・どの施設、地域でどんなことをしているのか。市でも作成してわかりやすくする。